



2025年度 第1回もりメイトキッズ開催

■開催日：6月22日（日曜日）

■開催場所：大竹市松が原キッズフィールド

■参加人数：15名（子供8名 保護者7名） スタッフ：19名



環境教育研究部会長：佐々木綾子

～今年のテーマは「日本昔ばなしを体験してみよう」。第1回目は「ももたろう」～

ももたろうのおじいさんの「芝刈り」ってなあに？暮らしの中でどんな意味があるの？の疑問から「芝刈り」をクローズアップし、背負子(しょいこ)を担いだおじいさん登場。寸劇で、子ども達にわかりやすく使い方や芝刈りの意味を伝えました。昔は、身近な自然を利用して暮らしていましたが、文明が進んだ今はまったく暮らし方が違います。違いを知る中で、今こそ自然を守り元気にすることがとても大切なことを、今年のテーマ「日本昔ばなし」を題材にして、これからも子ども達に伝えていきたいと思います。その後フィールド内で幼児は小枝拾い、小学生はノコを使ってそれぞれの「芝刈り」を体験しました。

【午前：芝刈り】



大枝を拾った幼児の
「芝刈り」



背負子付けて雑木をノコで切る
「芝刈り」



除伐した雑木を短く切る
「芝刈り」



切った枝を束にして集める
「芝刈り」

【午後：木挽き体験（小学生）】

午後からは「昔使っていた道具を使ってみよう」と、木挽き体験を行いました。昔は、間伐した材木から板材にするのに、こんな大きなノコを引いて製造していたのかと思うと、当時の森林経済に必要な道具と近年の文明の利器を比べ、人々が作り出した道具に歴史を感じ感銘する良いきっかけになりました。



みんなで木挽きにチャレンジしたよ



きびだんごを丸める子どもたち



キジ・サル・イヌはももたろうの家に！

【きびだんご作り（幼児）】

ももたろうで外せないのは「きびだんご」！！料理隊長、北田正子さんが試行錯誤を重ねたきび団子。子供たちが上手に丸め、ももたろうの家来のキジ、サル、イヌになって参加者に配り、芝刈りした人たちのご褒美となりました。





もりメイトキッズを支えるスタッフ

【司会:坂田 美和】

楽しく進行したいけれどできるかな、という心配をよそに、まわりの打ち合わせはどんどん話が弾み、その勢いにのせられて、私も次第に準備ができていきました。山のこと、道具の事、まだまだ知らない事だらけのもどかしさもありましたが、全体を見渡して何事も自信を持って話せるように勉強したいなと改めて感じているところです。伸びしろしかない、と、いつまでも言っていられないもりメイト5年目。(汗)



【食育担当:徳永 淳】

今回のキッズ料理班の一番の見せ場は、食育の要素を盛り込んだ昼食の献立紹介。「食育とは？」から始まり、献立紹介では食べ物の種類とその働きを示した図を使い、幼児にも分かるようにやさしいことばで説明したつもりでしたが、子供達には少し長かったかな?と反省点も。

今年のキッズテーマは「日本昔ばなしを体験してみよう」という事で、イベントの最後は桃太郎にもならせて頂き、子供達と素敵な思い出を作る事が出来ました。

